ちょっと覗いてみませんか？　ボランティア。

ぱらボラ

5月号
(通算第11号)
97.4.25

発行：東灘・地域助け合いネットワーク
TEL 078-843-4029 FAX:078-842-2907



「どれにしようかなあ」　小磯記念美術館にて（本文5ページ）

ボランティアを募集しています

東灘・地域助け合いネットワークでは地域の医院での「ふれあいサロン」、仮設住宅での「茶話やかタイム」、そして新しく始めた「美術館散歩」といった活動にたくさんのボランティアが参加しています。
また、お話し相手、お買い物代行、通院介助、薬とり、荷物運びなどもしています。
週1回からの参加でもOKです。

どうしてボランティアをするのか
～C研修より

「ボランティアをしている」というと、「すごい」「えらい」とか「余裕があるのね」と言われる。ボランティアをすることは特別なことなのだろうか？　四月四日のC研修は「ボランティア活動のやりがいについて」一五名のボランティアで話し合われた。

ボランティアには企業で働くことと違って報酬も昇格もない。どうしてボランティアをしているのだろうか？

◎ボランティアをするため朝早く起きることで一日のメリハリがつく。（六〇代男性）
◎体を動かすため健康につながる（七〇代男性）
◎自分の社会勉強（二〇代女性）
◎人間不信で家にこもっていたが、幅広い年代の人の世界を知り外に出るようになった。（二〇代女性）
◎若い人との出会いにより刺激を受けた。（七〇代女性）

共通しているのは「誰かのために」という思いだけでなく「自分のためにも」行っているということである。興味はあるが最初の一歩が踏み出せない人にもボランティアのよさを知ってほしい。

一人でも多くの人に仲間になってほしい。みんなはどんなところを周りの人に知ってほしいと思っているのか？

◎人とのふれあいの中で自分がどういう人間か分かった（二〇代男性）
◎ボランティア活動に参加することで仲間の輪が広がった。（三〇代男性）
◎学校で教わることのできないものがある。（二〇代女性）
◎どんな人でも受け入れてくれる。（三〇代女性）
◎すごいエネルギーを長時間必要とするわけではない。（六〇代女性）
◎依頼者の喜んだ顔を見たり、「また来てね」という言葉をかけてもらうとうれしい。（四〇代女性）
◎人から頼られたことのなかった自分が役に立った。（二〇代女性）

ボランティア活動は宗教活動とは違うので活動のよさは全員共通しないし、よさを知るためには時間がかかるかもしれない。成績・社会的認知・名誉・尊敬といった自尊欲求はボランティアにはない。ボランティア自身も、人との交流・心の通いあいといった社会的欲求があるのだということを改めて教わった研修であった。

研修に積極的なご参加を

A研修では東灘地域の状況説明、ネットワークの活動の紹介（ビデオによる）に加えて、車椅子の介助や、視聴覚障害者の誘導の仕方の実地訓練を行います。

B研修では心理療法士から心のケアについて講義を受けたあと、ボランティアと利用者の関わりで生じた悩みなどについて相談しあったり、アドバイスをもらうなどします。

C研修はリフレッシュ研修と位置付けられています。日常活動の中で生じた疑問や問題点をお互いに話しあったり講師から助言をもらい、ボランティアがやりがいを感じ、ネットワークが活性化する助けになるように企画されます。

その他番外編として、時々のトピックスを取り上げる特別研修が開かれています。

研修開催予定
五月二三日（金）
午後一時三〇分からA研修
六月二八日（土）
午後一時三〇分からB研修

日時は一応予定です。参加希望の方は、まずご連絡を。
（八四三）四〇二九
担当　芝崎・小林

ボランティア研修特別講座

あんしんすこやか福祉施設を見学

四月一六日、ネットワークのボランティア研修として、住吉公園に隣接する、特別養護老人ホーム「セ・ラ・ヴィ」と東灘在宅福祉センター「デイホーム住吉」の見学が行われました。両施設とも九五年四月に開所された新しい施設です。参加者は、一般の方も含めて一三名でした。

「セ・ラ・ヴィ」とは、フランス語の《これぞわが人生》という意味で、施設長以下生活指導員、看護婦、栄養士ほか三〇名が、また「デイホーム住吉」では、所長以下二〇名のスタッフで運営されています。スタッフだけでは十分なことができないので、多くのボランティアの支援を受けており、感謝されていました。

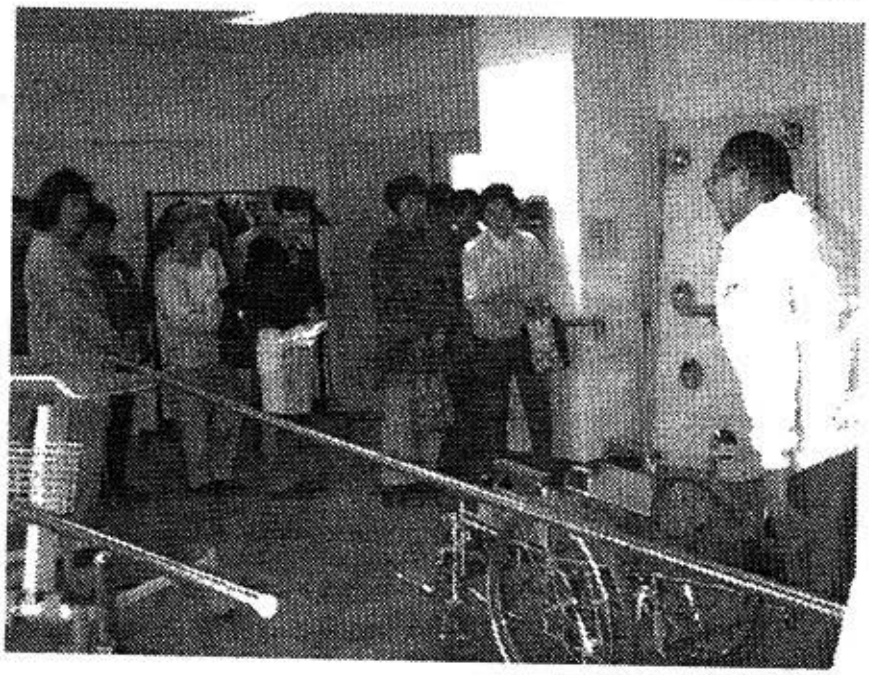
入所あるいは利用希望者が多く、三月末の待機者は、「セ・ラ・ヴィ」では一九九名、「デイホーム住吉」では三〇名ということでした。

館内の説明をしていただき、一部の部屋や浴室、静養室、医務室、リハビリルーム、食堂、ボランティアルーム等を見学しました。

施設長、所長のお話しを伺いましたが、阪神・淡路大震災の直後の開所で避難所となっていたため、たいへんなご苦労であったそうです。一年ぐらい経って、ようやく落ち着いたようです。最近では、痴呆の方が増えてきているとのことです。

参加者にお聞きしましたが、立派な設備が充実されていることと、明るく広い空間があり、雰囲気もすばらしいとのことでした。また、東灘区内に、このような施設が新しく設置される計画があると説明を受け、高齢化に対応する施策に、力強さと安堵感を覚えるとの感想でした。

この特別研修では、今後も東灘区の特別養護老人ホームの見学を予定しています。



「デイホーム住吉」で、所長の説明を受ける参加者たち

特別養護老人ホーム
六五歳以上の高齢者で身体上または精神上著しい障害があるため常時介護を必要とし、家庭での介護が困難な方が入所できる施設です。

在宅福祉センター
在宅の虚弱または痴呆症のある六五歳以上の高齢者は送迎つきで日常動作訓練、給食、入浴サービスなどのデイサービスが受けられます。お年寄りの健康、孤独感の解消、家族の介護負担の軽減等を目標としています。

神戸市の政策
二一世紀には、四人に一人が六五歳以上という、高齢化社会を迎えようとしています。このため神戸市では、高齢者の生き甲斐や、生活のゆとりにつながる制度として、さまざまな支援制度を設けています。「セ・ラ・ヴィ」もその一つです

１９９７年５月

東灘・地域助け合いネットワーク
TEL:078-843-4029

日	月	火	水	木	金	土
27 お鍋の会（主催：若芽の会） 浜公園仮設	28	29	30	1 ふれあいサロン 月例ミーティング	2	3
4	5	6 ふれあいサロン 西崎眼科医院	7	8 ふれあいサロン 川島クリニック	9 東灘区ボランティア連絡会	10
11	12 ふれあいサロン 浜中内科医院 月例Vrリーダー会	13 ふれあいサロン 河原医院	14 ふれあいサロン 藤田内科	茶話やかタイム15 魚崎1,2仮設 第２回美術館散歩 ふれあいサロン 神尾小児科	16 東灘区地域ケアネットワーク会議	17
18	19 ふれあいサロン 谷尻医院	20 茶話やかタイム 御影仮設 ふれあいサロン 田中医院	21 ふれあいサロン 深山医院	22 ふれあいサロン 宮地クリニック	ふれあいサロン23 高瀬内科 こころのオアシス （手水仮設） A研修（予定）	24
25	26	27 茶話やかタイム 手水仮設 ふれあいサロン 藤田外科	28 茶話やかタイム 川井仮設 ふれあいサロン 有光医院	29	30	31



高齢者に楽しく外出の機会を

新プログラム「美術館散歩」始まる

通院以外にはなかなか外出の機会がないという高齢者に楽しく外出の機会を、ということで企画されたのが「美術館散歩」である。

今回は第一回目ということで場所は施設内すべてが車椅子に対応できる「神戸市立小磯記念美術館」に決まった。参加者は近くの六甲アイランド第二仮設から募り、参加費は二〇〇円である。

四月一六日、午前一〇時にボランティア四名が送迎用の車に乗り、ふれあいセンターまで迎えに行くと参加者一三名はすでに全員集まっていた。二往復のピストン運転で美術館に到着。ハイビジョンギャラリーで作品の解説ビデオを見た後思い思いに展示品や復元されたアトリエを見学した。一一時半頃から喫茶室でミニサンドイッチセットを食べながら感想を話したり、冗談を言い合ったりなごやかな時を過ごした。

今回の参加者が住む仮設からこの美術館は歩いても一五分位だ。しかし、初めてという方が多かった。今まで「行ってみたいなぁ、と思っても迷うんじゃないかしらと不安だった」「一人で行けないし、年寄りだけでは心配」「きっかけがなかった」などいろいろな理由があるようだ。

ボランティアのほんの少しのお手伝いで、楽しいひとときを過ごせるこのプログラム、今後毎月一、二回実施していく予定だ。

あわせて、お手伝いしてくれるボランティアも募集している。

（お問い合わせは当ネットワークまで。）

	サービス内容	1月	2月	3月
家事	買物代行等	22	24	15
介護	話し相手・様子伺い等	156	272	195
移送	車による通院・外出介助等	28	33	20
	車による引越・荷物運搬等	11	10	13
その他	室内の荷物運び・移動・修理等	6	14	26
ふれあいセンター		2	6	8
茶話やかタイム		5	4	3
ふれあいサロン		11	13	13
心のふれあいの集い・心のオアシス		1	1	1
その他のイベント		0	0	1
サービス件数		242	377	295
一日平均サービス件数		11	16	11
参加ボランティア総数		471	542	613
一日平均ボランティア数		19	23	24
登録ボランティア数（累積）		1,377	1,403	1,412

どんな人♪こんな人



久保伸子（くぼ のぶこ）さん　53歳

東灘区在住　鹿児島生まれ

「やる限りは自分も楽しみたい。何があってもプラスに転化させたい。」

独特の鹿児島なまりでおっとりした雰囲気の久保さん。実はこのなまりを治そうとやり始めたのが朗読ボランティア。九四年六月より「芦屋つむぎ会」で毎月六〇分の朗読テープを作成している。テープを聞いた人が楽しく明るい気持ちになれるものを中心にエッセーや新聞の切り抜きをせっせと集めている。あの独特の語り口が聞く人の心に温かく響くのだろう。彼女の朗読を全国で六〇人ほどの方が楽しみに待っている。

当ネットワークには、仮設住宅の孤独死に胸を痛め、九五年七月に登録。以来六甲アイランド第二仮設の巡回を続けている。「これでいいのか」「役だっているのか」と思い始めた矢先、昨年一一月巡回先で孤独死が起こりショックを受けた。高齢者や障害者以外の方にも安否確認が必要であることを痛感させられた。

ひとり暮しの男性の社会復帰問題などまだまだ仮設巡回の役割は大きいと意欲を燃やしている。

今月の
新規ボランティアは
14人
でした

吉元初野さん　廣野礼子さん
小国友花子さん　中村素子さん
藤島冴子さん　面田弘子さん
北野浩一郎さん　井上順一さん
夜久敏江さん　中西貴広さん
佐藤大輔さん　佐藤道子さん
井上直美さん　朝山良絵さん

ボランティア募集中
078-843-4029
担当　原俊子

ご支援ありがとうございました
97.3.21～97.4.20にご寄付、物品をいただいた方たちです

神戸YMCA　目黒マサ子
小林甫　小熊芳明
(財)阪神・淡路産業復興推進機構
ヨシダテツコ　斉藤文夫
浜中内科医院　門田晋一郎
東江戸川ロータリー動氣会
（敬称略）

活動維持のためにご協力ください

銀行振込

さくら銀行　甲南支店
普通口座　3994604
口座名義　東灘・地域助け合いネットワーク　中村順子

郵便振替口座

01140-9-88648
名称　東灘・地域助け合いネットワーク

編集後記

●私もボランティアは余裕のある人がすることと思っていた一人です。（住本有希子）

●取材のために美術館に同行。なんだかとっても楽しい半日でした。（上村光代）

●みんな編集後記を書きたがらない。なんでだろう。（竹内克仁）

東灘・地域助け合いネットワーク
〒658　神戸市東灘区住吉東町2-3-28　東灘区役所中庭事務所
TEL 078-843-4029
FAX 078-842-2907
e-mail
tasukeai@mxb.meshnet.or.jp
http : //www1.meshnet.or.jp/~tasukeai/

4月号の「全労済のみなさん、ありがとうございました」の記事に小川輝子さん（大阪府）、北野入貢子さん（兵庫県）が抜けておりました。訂正してお詫びいたします。